＜山行報告＞

北八ヶ岳・稲子岳のマルチピッチクライミング

【報　告　者】キーボウ
【日　　時】2020 年９月 19 日（土）
【参　加　者】りりぃ、キーボウ

【稲子岳南壁】

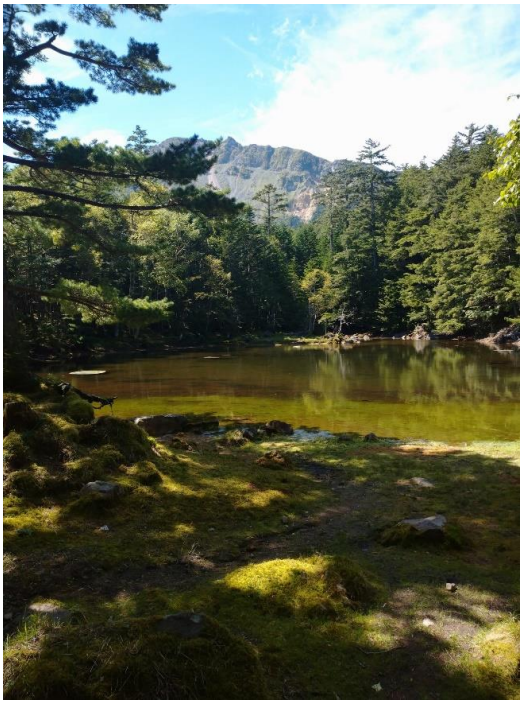
≪コースタイム≫
９月 19 日（土）； 稲子湯登山口（10：30）～ミドリ池（12：00）～左カンテ取付（13：30）～左カンテ終了点（15：00）～稲子湯登山口（17：00）

≪　報　　告　≫

今年はコロナ禍により、関東への遠征がためらわれた。８月初めの予定を８月半ばに延期し、再度、シルバーウィークのこの時期に延期してなんとか達成できた。

第一の目標は明神岳だが天気予報を考慮し、連休の後半に延期した。でも、金曜日の夜に長野県まで来てみると土曜日はそこそこの天気のようだ。そこで、スタートは遅くなったが、手頃な北八ヶ岳の稜線の外れにある稲子岳のクラシックルートを選んだ。東壁・南壁に、多くのルートがあるようだが、この南壁の「左カンテ」のみがポピュラーで、多くのクライマーを迎え入れているようだ。ネットで過去の記録を見てもマルチピッチの初心者用として登られている。

稲子湯登山口からスタート。10 時半とは、山ヤとしては失格のスタート。登山口には多くの車があるがまだまだスペースはある。久々の歩きで結構苦戦。



ミドリ池が近づくとかなりの急登であえぐ。ミドリ池のたもとのしらびそ小屋前で休憩。木の間越に稲子岳が望める。ここから、緩やかな登山道を北八ヶ岳の稜線に向けて登る。

ネットで確認しておいた地点から登山道を外れ稲子岳の南壁を目指す。そこそこ、テープはあるもののあちこちにルートがあるようだ。壁が近づくにつれ、急な上りとなる。かもしかのように軽やかに登るりりィに必死で付いていくのみ。

ようやく、取りつきに到着。

【ミドリ池から稲子岳】

ここで、ロープを付け、いざスタート。ギアチェンジするとなぜかスムーズに登れるものだ。

１ピッチ（35m；Ⅲ）；赤いハーケンがルートの目印。カンテとは書いてあるがフェース主体の快適なピッチ。

２ピッチ（30m；Ⅲ）；右の凹角を忠実にたどりカンテを越えるとざれたテラス。少し登ってビレイポイントへ。

３ ピッチ（30m；Ⅳ）；左のワイドクラックを登るのが主流と言われているが右のチムニーの方が自然。まあ、難しくはない。

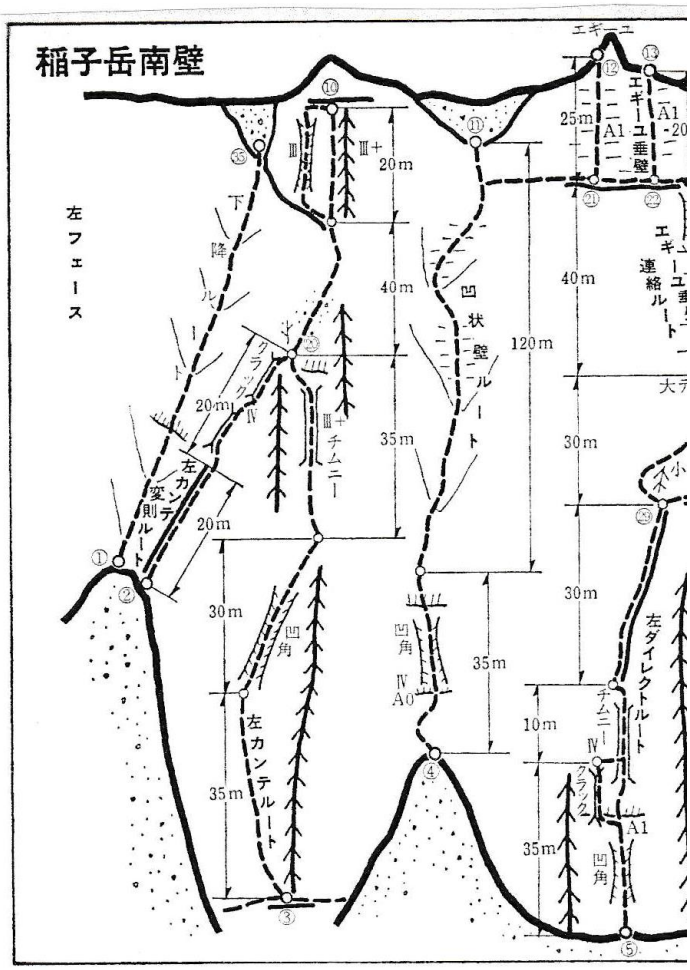
４ピッチ（30m；Ⅱ）；つなぎの部分

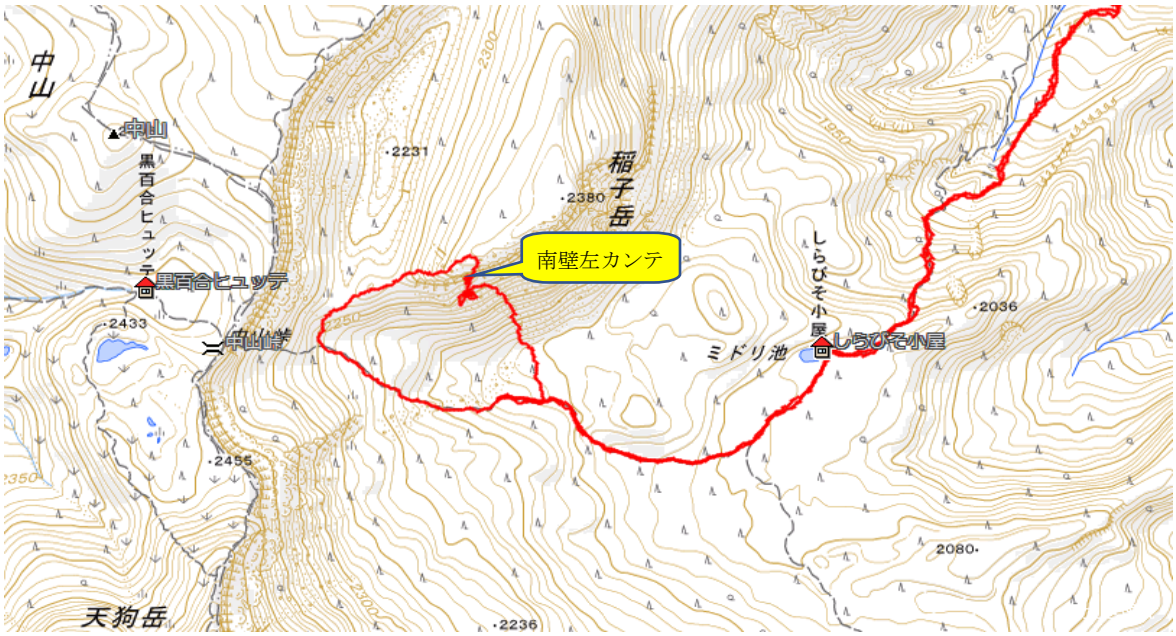
のような簡単なピッチ。

５ピッチ（30m；Ⅲ+）；易しい凹角を登っていく高度感あふれるピッチ。

ここで、終了。おまけのⅢ級のクラックのピッチもあるが割愛。

クラシックルートですが、支点は整備されていました。北八ヶ岳の緑の森を眼下に見ながら快適なルートを登りました。


稲子岳南壁
エギーユ
エギーユ垂壁
A1
25m
20m
40m
35m
120m
30m
10m
左フェース
下降ルート
クラック
チムニー
左カンテ変則ルート
左カンテルート
凹状壁ルート
凹角
A0
左ダイレクトルート
エギーユ連絡ルート
大テ
小


中山
中山
黒百合ヒュッテ
黒百合ヒュッテ
2231
2380
稲子岳
南壁左カンテ
しらびそ小屋
しらびそ小屋
ミドリ池
2036
2433
中山峠
2455
2080
天狗岳
2236